



平成 26 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 ザインエレクトロニクス株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 野 上 一 孝
(JASDAQ・コード番号 : 6769)
問い合わせ先 取締役経営企画部長 高 田 康 裕
電 話 番 号 0 3 - 5 2 1 7 - 6 6 6 0

新・中期経営戦略「REGROW」策定のお知らせ

当社は、2016 年 12 月期を目標年次とする新たな中期経営戦略「REGROW」を策定しましたので、お知らせいたします。

1．中期経営戦略「REGROW」策定の目的

当社グループは、2013 年を目標年次とする中期経営戦略「TACK2Win.」に基づき、アジア展開の加速、事業ポートフォリオの拡充等を通じて、成長軌道への復帰に取り組んでまいりました。これにより、2013 年業績が民生機器市場のみに依存することなく、産業機器、車載機器、モバイル機器の各市場における成長力の源泉を創出することができました。

こうした経営成果と当社グループの市場におけるポジションを踏まえ、当社グループの再成長を実現するため、2016 年を目標年次とする新しい中期経営戦略「REGROW」を策定いたしました。

2．中期経営戦略「REGROW」の概要

(1) 基本方針

- ・「三自前主義」(自前の市場創出力、自前の技術力、自前の資金力)を重視
- ・地域、市場、技術のポートフォリオを強化
- ・世界 No.1 ソリューションを提供

(2) 経営目標

2016 年を目標年次として過去最高の営業利益水準である 25 億円の営業利益達成を目指します。

(3) 重点施策

地域のポートフォリオ強化

World Wide の活動体制を整備することにより、世界の成長を取り込むための事業運営をします。具体的には、本社に海外統括部を新設し、世界市場における活動体制を一元的に運営・サポートするとともに各拠点の権限を強化します。アジア地域における拠点の体制を強化し、中でも地域的に広大な中国においては顧客地域に合わせて新拠点を整備するなど積極的に拡販してま

いります。また、今後の製品適用市場の拡大に対応させて、北米とヨーロッパにも営業活動を拡大してまいります。

このように World Wide の活動体制を整備するとともに、市場における水平分業に対応して、レファレンス・デザインの提案からデザイン・イン、量産に至るまでの充実したサポートの提供を目指します。

また、アライアンス戦略を強化します。相乗効果あるパートナーとの Win-Win 関係を創出できるよう、アライアンス案件の探索と実現を目指します。

戦略 4 市場でのビジネス革新

過去最高の営業利益水準への再成長を遂げるために、以下の 4 市場を戦略市場として重点的に注力します。

- ・ 産業機器市場（事務機器、アミューズメント、セキュリティ、医療機器等）
- ・ 民生機器市場
- ・ モバイル機器市場
- ・ 車載機器市場

World Wide でのマーケティング活動を強化しながら、特定用途向け標準品（ASSP: Application Specific Standard Products）により差別化を図り、これを核としたソリューション提供をビジネス革新に努めます。アライアンスも積極的に活用する方針です。また、ASSP 製品の適用市場を広範に拡大するため、開発製品の仕様への工夫を図るとともに、ISO14001 認証取得を始めとして車載機器および産業機器市場に対応した品質・環境マネジメントシステムの充実強化を図ります。

世界 No.1 ソリューションの提供

当社グループが競争優位性を持つ技術を核として、世界 No.1 ソリューション提供を目指します。高速画像伝送技術、高速・低コスト・超小型の画像処理技術、高速表示制御用技術、高効率電源技術、優れたノイズ耐性、ソリューション・サポート力を核として、世界 No.1 の付加価値の実現を図るとともに、アジアの競合他社に負けないコスト構造の構築を目指します。

【注記事項】

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があることを予めご了承ください。弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

以上